

国際機関等名	国際獣疫事務局 (英文名称・略称) World organization for animal health (OIE)					
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	Ⓔその他		
所轄官庁担当局課名	農林水産省大臣官房国際部国際政策課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千ユーロ)	レ ー ト		
平成17年度*	943,226	8,633	143	1 \$ =107 円 1ユーロ=136円	(2005年)	95.9
平成16年度	72,126	489	143	1 \$ =110 円 1ユーロ=128円	(2004年)	48.5
平成15年度	76,425	489	143	1 \$ =122 円 1ユーロ=117円	(2003年)	23.5
*鳥インフルエンザ被害に関する国際支援約824百万円(補正予算)を含む。						
拠出上位5ヶ国(注1)				国際機関等の財政 (2005年度決算)(注2)		
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 1,139 千ドル		
1位				当該年度の支出 710千ドル		
2位				次年度への繰越 429千ドル		
3位				会計検査機関名		
4位				Marie-Pierre Codier		
5位				(現在の構成員の出身国: )		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
<p>OIEは、動物の伝染性疾病及び防疫に関する唯一の国際機関として、各国の疾病発生情報の収集流布、動物検疫に関する国際基準の策定、新しい診断法の国際標準化などについて活発に活動しており、我が国の動物検疫及び家畜防疫の諸施策を実施するための科学・技術バックボーンとして大きく貢献している。また、WTO体制化において、OIEは家畜衛生の国際基準を策定する機関として明確に位置付けられており、加盟国はその国際基準を基本とした措置が求められていることから、OIEの役割は一層重要である。このような中で、我が国はOIE最大の拠出国として、一定の発言力を確保している。</p> <p>なお、平成17年度においては、東南アジアにおいて高病原性鳥インフルエンザによる被害が拡大し、緊急的な国際支援の要請がなされたことから、この対応として平成17年度補正予算において約824百万円の追加的な拠出を行なったところである。</p>						
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>						
<p>OIEは、数年毎に活動計画を定め、当該活動計画に従って活動している。近年においては、国際基準策定の強化、情報収集、提供活動の強化が行なわれている。我が国としても、これらの活動強化は重要であると考えている。</p>						
邦人職員数 うち幹部以上	5人 うち 4人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にしめ る率		50人 10%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
国際貿易部特別補佐		石橋朋子		OIE本部(パリ)勤務		
アジア太平洋地域代表		藤田陽偉		OIEアジア太平洋地域事務所勤務		
アジア太平洋地域上席次席代表		吉村史朗		OIEアジア太平洋地域事務所バンコク支所勤務		
アジア太平洋地域次席代表		桶谷良至		OIEアジア太平洋地域事務所勤務		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
<p>OIE本部への派遣については、国際的な家畜衛生に関する情報の迅速な収集、OIE活動への我が国をはじめとするアジア地域の意見の反映、我が国の国際貢献の明示のため非常に重要であり、又、OIEアジア太平洋地域事務所への派遣については、東・東南アジア地域における口蹄疫の防疫、域内での情報交換、BSEのリスク管理及び家畜衛生の向上等を牽引する立場にあり、ひいては我が国への家畜疾病の侵入防止につながることから、今後とも、邦人職員の派遣を継続する予定である。</p>						

(注1)複数の事業に拠出しており、各事業毎に拠出国が異なるため、拠出率・拠出上位5ヶ国の記入は不可能。

(注2)我が国からの拠出金のほか、他国からの拠出金も含まれている。